



〒892-0841
鹿児島市照国町13-42
カトリック鹿児島教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間千共1100円



司教の手紙

ミサのカテケージスについて

鹿児島教区司教 中野 裕 明

教区の皆さま、お元気で
すか。今回は「ミサのカ
テケージス」についてお話し
します。「ミサのカテケージ
ス」は2022年の教区目
標として、今年6月の司祭
集会で司祭団に公表され、
同じく9月の同集会で再確
認されました。教区で働く
司祭方はそれぞれ、この教
区目標に沿って宣教司牧に
励まれることと思います。

この教区目標を設定した
のには一つの理由がありま
す。それは、今年の待降節
第1主日（11月27日）から
ミサで使用されている言葉
が、いくつか変更されるか
らです。

なたとともに」とこたえる
ことと、「主よ、あわれみ
たまえ」が「主よ、いつく
しみを」の二つです。皆さ
まにとって、何故今更、こ
のような言葉の変更がなさ
れるのか疑問に思われるか
も知れませんが、ご説明
いたします。

まず、典礼の原則につ
いてお話ししなければなりま
せん。各宗教はそれぞれ固有
の典礼（儀式）を持ってい
ます。そして、典礼で用い
られる仕草や言葉は、その
宗教の教義の内容を正しく
表現していなければなりま
せん。もし、仕草や言葉が
教義をゆがめ、そこから信
者を離反させるような結果
になるとその宗教そのもの
が瓦解しかねません。ラテ
ン語での原則で表現するな
ら、「Lex Orandi est Lex

10月9日（日）、10日
（月）の2日間、鹿児島カ
テドラル・ザビエル教会と

福音宣教する教会へ

教区評議会

小教区と教育・福祉施設の関係を確認



司教講話でテーマについて解説を受ける

教区本部を会場に鹿児島教
区の全小教区の主任司祭と
信徒代表、また司教が必要
と認めた修道者や施設
長などで、教区の重大
なテーマについて話し
合う「教区評議会」が
開催された。

今回の会議は「小教
区とカトリック学校・
幼稚園・社会福祉施設
の関係について」（テ
ーマ）その現状を分か
ち合うもので、教区に
ある29小教区のうちの
22の小教区からの代表
と修道者2人の合計35
人が中野司教の講話を
聞き、また分科会でテ

ミサ式次第
教区独自の会衆用冊子
今年の待降節第一主日
（11月27日）から「ミサの
式次第と第1〜第4奉献
文」の日本語訳に
若干の変更がある
こと、



今年6月の待降節第一主日
（11月27日）から「ミサの
式次第と第1〜第4奉献
文」の日本語訳に
若干の変更がある
こと、

ら教会ではない」という思
いを心に刻んで神の国の実
現に邁進しようとメッセー
ジを送った。

という原則からくる要求で
あります。
日本の教会の場合、現在
使用され、慣れ親しんでい
る「ミサ典書」は実際に
は、1978年に暫定版と
して、ローマから承認を受
けたものでした。しかし、
45年近く使われていたの
で、私たちはこれが決定版
でもう変更はないのだと思
っていました、実は日本

の司教団は、1988年か
ら決定版に向けた検討を始
めていたのです。そして今
回、その検討が35年後に結
実したのが、実は今回の
「新しいミサ式次第」とい
う事になります。

このミサ典書で使われる
用語の変更により、私たち
は戸惑い、慣れるまで若干
時間がかかるかもしれませ
ん。しかし、イエスが教会

11月20～27日は聖書週間
みことばに触れましょう！

神の愛を知り、神の心を受け取るた
めに、わたしたちは新約聖書と旧約聖
書を神のことばとして読み、大切にし
ます。「聖書週間」は、すべての人、
とくに信徒が、この聖書に「より強い
関心をもち、親しみ、神の心に生き
る」ようになるための週間です。

各教区では、聖書への関心を高め、
より親しむために、講演会、研修会、
展示会などの催しが計画されます。こ
のような催しに進んで参加するととも
に、自分でも積極的に聖書に近づきま
しょう。たとえば、毎日欠かさず聖書
を一章ずつ読む方法や、ミサにあずか
れなくても、ミサの聖書朗読の当日分
を毎日読む方法も勧められています。

に残されたミサの意味とそ
の本質にまったく変更はあ
りません。逆にこの変更の
機会をとらえて、意味の分
からないラテン語から、意
味の分かる自国語でミサに
あずかって、ある意味マ
ンネリ化していた部分に目
覚め、ミサそのものの意味
と本質を改めて司祭が信徒
とともに深めていってほ
しいと思います。

最後に「カテケージス」
という言葉について説明し
ます。これは、「信仰を響
かせる」という意味です。

ミサは、決められた所作
を忠実に果たせばよいとい
うものではありません。ミサは
キリストとの出会いの秘跡な
ので、ミサの中で、キリスト
との出会いがなければ意味が
ありません。そこで、ルカ福
音書24章13〜30節を熟読なさ
ることを勧めます。そこ
に、真の意味で「ミサのカ
テケージス」を見出すことが
できます。

教区会計収支計算書

2021年4月1日～2022年3月31日

経常収入

科 目	20201年度予算額	2021年度決算額	備 考
①献金収入	¥21,000,000	¥22,423,358	
教区費	15,000,000	14,844,198	教区司祭地区30%、修道会司祭地区20%
ミサ献金	5,000,000	4,935,582	教区司祭地区50%、修道会司祭地区0%
カリタス鹿児島	1,000,000	1,791,978	
教区財政支援	0	851,600	
②補助金収入	¥5,212,000	¥7,858,363	
聖座補助金	0	2,308,950	
教区司祭医療積立	72,000	84,000	
教区司祭年金	5,140,000	5,465,413	
③寄付金	¥11,200,000	¥13,374,456	
司祭寄付金	10,000,000	13,104,456	郡山司教、小川、泉、寝占、末吉、霧島、ディーノ神父
一般寄付金	1,000,000	270,000	
特別寄付金	200,000	0	
④祭儀収入	¥1,500,000	¥2,291,900	冠婚葬祭、祝福
⑤法定献金	¥3,700,000	¥3,504,277	
⑥広報分担金	¥1,600,000	¥1,565,240	
⑦その他	¥2,679,776	¥5,704,201	前期末未収入金、受取利息、雑収入、事業収入など
経常収入合計	¥46,891,776	¥56,721,795	

財務収入

科 目	2021年度予算額	2021年度決算額	備 考
①固定資産売却収入	0	¥12,350,000	
不動産売却	0	12,350,000	串木野・阿久根教会土地建物
②特定預金取崩収入	¥3,000,000	¥2,178,372	
教区司祭年金取崩	1,000,000	2,178,372	
その他	2,000,000	0	
③その他収入	¥12,200,000	¥9,985,274	
預り金受入	8,500,000	6,785,274	社会保険、雇用保険、所得税、住民税、他
貸付金回収	3,500,000	3,000,000	川内教会
仮払金・立替金	200,000	200,000	仮払金清算による戻り（仮払金支出に対応）
財務収入合計	¥15,200,000	¥24,513,646	
収入合計	¥62,091,776	¥81,235,441	
前年度繰越金	¥43,983,810	¥43,983,810	
合 計	¥106,075,586	¥125,219,251	

神学生養成費収支計算書

2021年4月1日～2022年3月31日

神学生収入

科 目	2021年度予算額	2021年度決算額	備 考
①神学生養成費	¥10,000,000	¥9,874,800	
②前期末未収入金	¥126,000	¥375,300	
③期末未収入金	¥-100,000	¥-63,800	
④寄付金	¥0	¥0	
⑤前年度繰越金	¥9,879,258	¥9,893,258	
収入合計	¥19,905,258	¥20,079,558	

神学生支出

科 目	2021年度予算額	2021年度決算額	備 考
①神学校運営分担金	¥4,420,000	¥4,908,640	
福岡カトリック大神学院	3,500,000	4,150,000	運営分担金
聖カルロス大神	300,000	163,440	久山神学生授業料
福岡コレジオ	620,000	595,200	運営・基本分担金
②旅費研修費	¥500,000	¥0	
③生活補助費	¥300,000	¥240,000	2万円×12ヶ月
⑤雑 費	¥35,000	¥3,850	外貨送金・振込手数料
⑥修道会援助金	¥800,000	¥900,000	レデンプトル会、コンベンツアル会
⑦学 費	¥0	¥0	神学生の教科書代
⑧その他	¥200,000	¥0	担当司祭活動、召命体験
⑨神学生養成基金支出	¥5,000,000	¥5,000,000	
⑩次年度繰越金	¥8,650,258	¥9,027,068	
支出合計	¥19,905,258	¥20,079,558	

2021年度鹿児島教区会計のご報告

教区民の皆様の教区会計へのご協力、ご理解に感謝いたします。

ここ数年のコロナ感染等により様々な影響が教区会計にもありましたが、昨年度の収支計算書からはその改善の跡を見ることが出来ます。しかしながら単年度ではなく、これまで、そしてこれから（次年度繰越金）を考えると教区会計が苦しいことは継続しています。今後とも教区会計へのご協力をよろしくお願いします。

教区会計部 泉 浩 二

経常支出

科 目	2021年度予算額	2021年度決算額	備 考
①人件費	¥45,800,000	¥41,768,169	
給 料	35,500,000	33,108,591	司教・司祭（14人）、シスター3人、職員7人
法定福利費	5,500,000	4,296,388	社会保険料
福利厚生費	3,000,000	2,184,818	医療保険、医療費、葬儀費用 丸野神父（家賃）
司祭年金	1,800,000	2,178,372	丸野神父、田原神父
②維持管理費	¥4,400,000	¥3,970,404	
修繕費	2,000,000	1,138,423	施設修繕、車庫シャッター・舗装
施設保守点検費	1,200,000	1,215,041	ビル管理（保守点検）、エレベーター保守
損害保険料	1,200,000	1,616,940	建物火災・損害（カテドラル・本部など6カ所）
③事務運営費	¥8,740,000	¥8,080,966	
事務費	600,000	630,144	印刷機、印刷用紙、ダスキン取替、給与ソフト
通信費	550,000	511,491	電話料、切手、葉書、発送代
旅費交通・接待費	450,000	219,374	公務出張旅費
水道光熱費	3,000,000	2,434,783	電気、ガス、水道（本部、司教館、地区長館など）
支払報酬手数料	1,200,000	2,793,603	税理士、振込手数料、小切手手数料、本部清掃委託
租税公課	100,000	124,074	自動車税、法人膳本など
会議費	1,500,000	334,699	各種司祭会議の交通費、教区シノドスなど
図書印刷費	140,000	228,195	新聞代、新日本法規、封筒・領収証印刷
賃借料	1,050,000	517,933	印刷機、コピー機、電話機
自動車諸費	150,000	286,670	ガソリン代、高速料金、車検代
④宗教活動費	¥6,510,000	¥2,622,378	
祭儀費	10,000	68,152	毎日のミサ 他
教育養成費	1,000,000	29,707	青少年信仰養成（巡礼・聖書学校）及び活動援助
教区司祭研修費	3,000,000	2,356,912	黙想会、司祭大会 貴島神父研修費
行事費	2,000,000	31,444	ザビエル祭、レオ殉教祭、シドッチ祭、叙階式
宣教広報費	100,000	66,000	JR鹿児島中央駅（カテドラル）
その他	400,000	70,163	布教強化費（100,000円）、宣教司牧活動費

⑤広報部支出	¥1,950,000	¥1,696,563	教区報印刷代他
⑥補助金支出	¥3,600,000	¥3,589,100	満辺、指宿、種子島、垂水、屋久島、阿久根
⑦負担金	¥1,100,000	¥750,000	教区分担金88万円、Can献金17万円、他
⑧諸会費	¥200,000	¥48,800	教誨師会、唐湊町内会、全国典礼担当者会
⑨災害見舞金	¥100,000	¥0	
⑩法定献金支出	¥3,180,000	¥3,286,957	
⑪事業支出	¥100,000	¥175,398	ミサワイン仕入、結婚証明
⑫その他支出	¥473,843	¥7,236	慶弔費、他
⑬予備費	¥500,000	¥0	
⑭資金支出調整勘定	¥-300,000	¥0	期末未払金
経常支出合計	¥76,353,843	¥65,995,971	

財務支出

科 目	2021年度予算額	2021年度決算額	備 考
①固定資産取得支出	0	¥0	
建物付属・器具備品	0	0	
②特定預金積立支出	¥11,224,000	¥12,245,391	
カリタス基金	1,000,000	1,791,978	
教区司祭年金積立	6,580,000	6,785,413	
教区司祭医療積立	144,000	168,000	
その他	3,500,000	3,500,000	建物減価償却、退職金、教区基金積立
パイプオルガン	0	0	
③その他支出	¥8,700,000	¥7,066,053	
貸付・立替金	0	200,000	
仮払金	200,000	0	
預金支出	8,500,000	6,866,053	預り金収入に対応
④繰入金支出	¥0	¥5,503,892	書院人件費、串木野土地売却
財務支出合計	¥19,924,000	¥24,815,336	
支出合計	¥96,277,843	¥90,811,307	
次年度繰越金	¥9,797,743	¥34,407,944	
合 計	¥106,075,586	¥125,219,251	

宗教、宗派を超えた祈りと活動継続

ウクライナの平和を願って



ウクライナの人々のためへの募金活動で、9月からは毎月第1日曜日に実施されている。参加者たちは毎回

今年2月24日に始まったロシアのウクライナへの軍事侵攻を非難し、平和を祈ろうと鹿児島県の「諸宗教の集い」が活動を続けている。内容は祈りの行進とウクライナの人々のためへの募金活動で、9月からは毎月第1日曜日に実施されている。参加者たちは毎回

約20人ほどだが、14時から鹿児島市の繁華街で募金活動を行った後、ザビエル教会を出発する祈りの行進（ザビエル教会・西本願寺（照国神社）をしている。また8月は休会となったが、レデンブートル宣教師道女のシスターたちの呼びかけで「ウクライナに想いを寄せて」をテーマにした集いが旧司教館の庭で開かれ、レデンブートル宣教師道女会ドイト総本部から

のウクライナの報告を聞き、分かち合っている。

聖書愛読運動「旧約聖書・歴史編」完走者

順秀子さん、浜田スミ子さん（母間教会）、網屋澄子さん（鴨池教会）、吉原俊美さん（谷山教会）、蘇畑ツギ子さん（大熊小教会）、大山みどりさん（加世田教会）、上野千穂子さん（ザビエル教会）、中野和明さん（聖心教会）、宇田美智枝修道女、久松久美子修道女、永田京子修道女（純心聖母会鹿児島修道院）※10月12日現在

シドッチ神父屋久島上陸記念祭

日	場所	内容	協力
11月23日（水）14時～17時	カトリック屋久島教会・神父シドッチ上陸記念碑前広場、小島区公民館	(1)ミサ (2)式典 14時 カトリック屋久島教会 15時 神父シドッチ上陸記念碑前広場挨拶 中野裕明司教、屋久島町教育委員会、小島区長 16時 「シドッチ神父と屋久島」（古居智子さん） カトリック鹿児島司教区 カトリック種子島教会、カトリック屋久島教会 屋久島町教育委員会 NPO法人やくしま未来工房 朴鎮亮神父（種子島教会主任司祭・TEL 080（3993）4512）	後援 主催

11月20日は世界青年の日

1984年、あがないの特別聖年に、聖ヨハネ・パウロ2世教皇は大十字架（380cm）を聖ペトロ大聖堂の祭壇脇に設置し、それを「主イエスの人類への愛のしるし」として青年らに託しました。以来、この十字架は巡礼のシンボルとして諸国を旅しています。国連が定めた国際青年年（1985年）の受難の主日に、青年らはこの十字架とともに教皇のもとに集まりました。そして教皇は、毎年受難の主日を「世界青年の日」として祝うように定め、以後2～3年に一度WYD（ワールドユースデー）が開かれるようになりました。2020年に教皇フランシスコは、各方面の要望を踏まえ協議を重ねた結果、次年より世界青年の日を王であるキリストの祭日に変更すると発表しました。祝われる日は変わりますが、この日の中心にあるのはつねに、人類のあがない主イエス・キリストの神秘です。

+KABAYAN SEKSYON+

Ministeryo ng Paghuhubog sa Laiko

Ang pagsulpot ng iba't ibang ministeryo ng mga laiko pagkaraan ng Vaticano II ay isang bungang sadyang katanggap-tanggap sa lahat.

Sa "Asian Colloquim on Ministries in the Church," tinukoy na ang paghuhubog para sa ministeryo ay sadyang nararapat.

"Ang mismong karakter ng tao (ang biyayang tinanggap niya, talent at pagkakaroon ng sadyang gulang) at ang mga pangangailangan sa naturang lugar o rehiyon ang siyang magtatakda sa uri ng paghuhubog."

Ang maingat na binalangkas na mga programa sa paghuhubog ng mga laiko ay kailangang gumalang sa "mga hinihiling at responsabilad ng sitwasyon ng isang laiko (pamilya at propesyon)"; anumang "maglalayo sa kanya sa konteksto ng kanyang buhay ay dapat iwasan."

Ipinahayag ni Papa Francisco kamakailan lang na kailangan ng Simbahan ang natatanging ambag ng laiko, ngunit hindi sila dapat ihanay sa mga "klerero".

"Sa tingin ko, ang kleroismo ay humahadlang sap ag-unlad ng laiko."

Para kay Francisco, ito ay "magkagnay na tukso, sapagkat hindi mananatili ang kleroismo kung walang mga laikong nais maging tulad ng mga klero."

Dagdag pa rito, "ang pari ay hindi makagaganap ng gawain ng isang laiko"; "ang laiko ay may taglay na lakas dulot ng binyag at ang kanyang bokasyon bilang laiko ay hindi maipagpapalit."

Kailangan lang ang patuloy na paggabay ng mga pari sa paghuhubog sa mga laikong nagnanais na maglingkod sa simbahan at sa mga kapatiran sa pananampalataya.

Bigyan din ng pansin ang mga kakayahan na pwedeng maitulong ng mga laiko sa pagunlad ng sambayanang nanampalataya sa iisang Diyos.

Laiko, Simbahan at Misyon

(Fr.Dino Orolfo)

マリア賛歌の中で「わたしの魂は主をあがめ、／わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます」とあります（ルカ1・47）。面白いことにこの「魂」と訳された言葉のヘブライ語の語源は「喉」であると言われています。砂漠地帯での喉の渇きは死に繋がることから喉から魂や命を意味するようになったのでしょうか。更に「喉が求める」ということから「渇き、渇望」、そして「欲望」といった意味にも転じていったようです。こうしたこと踏まえ詩

《康由神父の聖書教室》

神を渴望していますか？



編や箴言に「わたしの魂よ、主をたたえよ」という節が慣用句的にあると考えられます（詩編103・1、2、22 箴言104・1、35）。ユダヤ人によれば人間と

私たちの心は、あなたのうちに憩うまで、安らぎを得ることができないのです」と語る通りです（告白「1、1」。

人間の渇きが癒されるのは神様を見出した時であると言えます。

詩編には「神に、命の神に、わたしの魂は渇く。いつ御前に出て／神の御顔を仰ぐことができるのか」（詩編

42・3）、「なぜうなだれるのか、わたしの魂よ／なぜ呻くのか。神を待ち望め。わたしはなお、告白しよう／『御顔こそ、わたしの救い』と」とあります（詩編42・6）。

これらの詩編に今こそ主であり神の独り子であるイエス様の御降誕を待ち望む時であることを読み込むことが出来るかもしれません。

今月の末からいよいよ待降節が始まります。この時期に赦しの秘跡に与ることが勧められています。自分

の罪を見つめることや神様の愛に応えるために回心の必要性を考えることは大切なことです。そのためには自分の魂・命が主なる神に飢え渇いているかを問うてみたいものです。

私たちの悔い改めを神様は望まれています。だからこそ預言者イザヤは「主を尋ね求めよ、見いだしうるときに。呼び求めよ、近くにいますうちに」と語るのです（イザヤ55・6）。

会と催し 11月

1日（火）諸聖人 ▼みことばを祈る集い・ザビエル教会・10時	2日（水）死者の日 ▼中野アカデミー・教区本部・19時	4日（金）大野和夫神父命日（2016年） 年間第32主日	6日（日）カトリック唐湊墓地ミサ・14時 ▼奄美地区死者ミサ・カトリック納骨堂前広場・11時（雨天の場合は聖心教会）	9日（水）ラテラン教会の献堂 ▼メニヒ神父霊名（テヨドル）	10日（木）ガブリエル神父命日（1978年） 年間第33主日	13日（日）福者レオ七右衛門殉教祭・川内教会・11時30分 ▼貧しい人のための世界祈願日 いつくしみの特別聖年（2015年12月8日～2016年11月20日）の閉年にあたり公布された使徒的書簡「あわれみあるかたど、あわれな女」で教皇フランシスコは、年間第33主日を「貧しい人たちの世界祈願日」とするよう決めました。ご自分を小さい者や貧しい者と等しくなされたキリストに倣い、わたしたちも、貧しい人、弱い立場にある人に寄り添い、奉仕するよう求められています。不平等や不正義のない世界の実現に向けて、具体的なわざを通して神のいつくしみのあかし人となるよう、祈り求めていかなければなりません。	15日（火）教区司祭会・教区本部・16時	16日（水）中野アカデミー・教区本部・19時	17日（木）神修神父命日（2014年） 青年会・鴨池教会・18時30分	19日（土）王であるキリスト 奄美の宣教司牧を考える会	20日（日）世界青年の日 レジオマリエ鹿児島・谷山教会・14時	23日（水）シドッチ祭・屋久島教会・14時	26日（土）鄭成淙神父霊名（ブルクマンス） 待降節第1主日	27日（日）司祭評議会・教区本部・14時	29日（火）司祭評議会・教区本部・14時	30日（水）聖アンデレ使徒 【司教日程】1日明光学園ミサ、2日中野アカデミー、東、6日唐湊墓地ミサ、8～10日生涯養成委員会及び常任司教委員会（東京）、13日福者レオ七右衛門殉教祭、15日教区司祭会、16日中野アカデミー、20日奄美の宣教司牧を考える会、21日大神会議、23日シドッチ祭、25日カウンセリング講座、29日司祭評議会、30～1日常任司教委員会（東京）
-----------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	---	----------------------------------	-----------------------------------	--	----------------------	------------------------	--	--------------------------------	------------------------------------	-----------------------	----------------------------------	----------------------	----------------------	---

祈りの意向

【祈祷の使徒会】

教皇 苦しんでいる子どもたち

日本の教会 海外宣教師

神さまの愛と

いのちのかかわりを学習

教区内福祉施設がオンライン研修

カトリック鹿児島教区内福祉施設協会主催研修会が9月22日（木）オンラインで開催された。合同研修というこの取り組みは、平成25年度からの県内のカトリック高齢者施設の交流会から出発し、現在、県内の社会福祉施設8事業所での研修となっている。

講話ではイエズス会の片柳弘史神父様「世界で一番大切なあなたへ」マザー・テレサに学ぶ神さまの愛」とクラレチアン宣教会の昌川信雄神父様「いのちと関わる」を受講した。その他会員施設紹介、分かち合いがあり、谷山教会から派遣ミサを中継し、閉会した。

感想文

研修会で無償の愛を学ぶ

愛の聖母園児童指導員 海老原 惇志

子どもたちが様々なかたちで表出している小さな「叫び」がすべてなのかなと感じ、小さな叫びに意味があるのだと痛感しました。

日々の業務で時間に追われてしまうことが多いのですが、そういった時にこそ子どもたちの声に耳を傾け

ていきたいと思いました。

マザー・テレサのお話にもありましたが「自分の視界から消えていく人を少しでも減らせるような意識」を持つていきたいと思われしましたし、価値観を改めて考え直すきっかけとなりました。また「私たち自身の日々のかかわりや生活を

ウクライナのために送金 カリタス鹿児島

9月26日（月）定例会議を開いたカリタス鹿児島では、ウクライナのために集まった募金からカノッサ修道女会、レデンプトール宣教修道女会の2ルートを使い、それぞれのルートで130万円ずつを届けることを決め、9月30日付で送金した。



要 理

あるテレビ番組の中で「私の自慢の彼氏」というコーナーがありました。そこで登場した女の子たちが彼を好きな理由を語ってくれたのですが、とても奇妙な感じがしました。なぜなら何かをもらったり、してもらえることばかり彼女たちの口から出るからです。

今まで愛について考えてきました。が間違った愛とは

まさにこれです。英語で考えてみましょう。

「得る」とは英語で「GET」、「～のため」とは「FOR」です。FOR + GET = FORGET : つまり「忘れる」になってしまいます。自分を満足させるために相手から何か得ようとすればその人のことを忘れてしまうのです。「金の切れ目が縁の切れ目」と言いますが、彼女たちの中でその自慢の彼氏と結婚している人は一人もいないでしょう。

愛と赦しと忍耐と…

反対に正しい愛とはこの世に独り子をお与えになつてくださった神様の愛に見られます。これも英語で考えてみましょう。「与える」は英語で「GIVE」、「～のため」とは「FOR」です。FOR + GIVE = FORGIVE : つまり「赦す」になります。相手のために自分を与えるのならその人を赦せるのです。

愛と赦しは表裏一体です。愛しているのに赦せないのならそれは本当の愛ではありません。また赦せないのなら本当に愛していることにはなりません。みなさんはたくさん愛されてきたのと同じくらいたくさん赦されてきたのです。でもね：愛と赦しの真ん中には忍耐があることを忘れないでください。「愛は忍耐強い」というパウロの言葉があります（I コリント 13・4）。ご両親の奥歯が擦り減らないように時として自分を振り返ってみてください。



信徒のための信仰生活指針⑦

聖性への信徒の召命Ⅱ洗礼のいのちを豊かに生きるために①

自分たちの信仰生活をもっと充実したものとするため、カテキズム（要理）を学びたいという希望に沿うための一つとして、故・糸永司教様が出された「信徒のための信仰生活指針」を連載してきました。糸永司教様は、そのまとめとして2003年に「年頭司教教書」（聖性への信徒の召命）も執筆されています。これを教区報11月号と12月号に掲載いたします。

1. 洗礼による聖性への招き

人のいのちは召命です（パウロ六世）。この召命は洗礼においてより明らかにされ、具体化されて「聖性への召命」となります。それが信徒の尊厳の根拠でもあります。ヨハネ・パウロ二世は次のように言われました。「御父が、イエス・キリストにおいて、聖霊を通して、それぞれにお与えになる第一の、そして基本的な召命を吟味してみ

ると、信徒の尊厳というものが大変はつきりします。それは、聖性への召命、すなわち愛の完成への召命です。聖性は、キリストの弟子に与えられた尊厳のもつとも輝かしいあかしです」（『信徒の召命と使命』16）。

「聖性への召命は洗礼に根ざしており」、「洗礼による新しいいのちの基本的で不可分の要素であり」（同上）、すべてのキリスト者の「義務」（『教会憲

章』42）でもあります。ですから、聖性とは、キリストの聖なるいのちに結ばれる洗礼の恵みを豊かに生きて「自己のキリスト化」を完成することであり、また聖性の本質は愛ですから、「愛の完成」とも言われます。さらにそれは人間の究極の目的達成ですから、人間としてのいのちの完成でもあります。このように信徒は、司祭や修道者と同じように、「唯一の聖性」（『教会憲章』41）に呼ばれているのです。

2. 信徒固有の聖性への道

しかし、信徒は司祭や修道者とは異なる道を通じて

聖性を目指します。信徒固有の道とは、世俗にとどまり、この世の生活と務めの中で自分の聖化を目指すということです。世俗の中で生きることが信徒固有の召命であり、それが「信徒固有の特質」（『教会憲章』31参照）であるからです。

ちなみに、司祭は司祭職という聖なる務めを果たすことによつて聖性を目指します。「司祭にとつて聖性に達する本来の道は、キリストの霊において自分の任務をまじめに怠ることなく実行することである」（『司祭の役務と生活に関する教令』13）。また修道者は世俗の生活を捨て、誓願によつて清貧、貞潔（独

身）、従順の福音的勧告を生きてことの中に聖性への道を求めます。「教会は常に福音的勧告の公式誓願の中に聖性への恵まれた道を認めてきました」（『奉獻生活』35）。

教会の歴史を見れば、長い間、修道者の霊性がただ一つの聖性への道であるかのような誤解があったため、信徒も教区司祭も、修道者の霊性を一つの模範とする傾向がありました。第二バチカン公会議は、信徒固有の霊性や教区司祭の霊性を明らかにすることによつて、修道者の霊性との区別をはっきりさせました。修道生活が優れて聖性への道であることに変わり

ありませんが、信徒には、たとえどろどろした世俗に生きているとは言え、現実の生活の中に聖人への道があるのです。

「ウクライナ」支援募金 教区では、レデンプトール宣教修道女会とカノッサ修道女会を通してウクライナ支援することにしました。郵便振替は下記の通り。
郵便振替：02030-2-8359
加入者名：カトリック鹿児島教区
*通信欄に「ウクライナ」と明記の事